

令和6年度(令和5年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部都市計画課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
24-1	亀崎地区無電柱化等整備事業	B	電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、令和8年度の完了に向け、引き続き工事を進めていく必要がある。	現状維持	令和8年度中の工事完了を目指し、電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、計画的に事業を進める。令和6年度も引き続き電線共同溝工事を進めていく。
24-2	公共交通対策事業	C	指標であるバス利用者数は、規模の大きい基幹2路線の伸びが小さかったことが影響し、目標には未達であったものの、全路線で前年度よりも利用者が増加した。 平成30年以降に導入を開始した地区路線A、Bでは、全ての路線で過去最高値を記録した。これは令和4年度下期に実施した無料乗車キャンペーンによる利用の底上げ効果やコロナ禍で妨げられていた路線成長の再開が寄与したものと考えられる。 ただし、その中でも伸びが乏しい地区路線B瑞穂線については、住民意見を取りまとめた改善案に基づき、令和6年4月からの新路線運行を決定した。 基幹2路線では、夜間のニーズ調査と利用促進を兼ねて最終便以降に移動手段を追加確保する夜間運行キャンペーンを令和5年10月から5か月間の金・土限定で試験的に行った。 また、交通空白地域の解消に向け、横川地区でおでかけタクシー制度の実証実験を行い、令和6年4月からの本格導入を決定した。	拡充推進	引き続き利用者数の底上げを目的に、地区路線A亀崎・有協線の路線改善を行う。改善においては、移動手段の変更も視野に入れ、地域住民と協働して取り組む。 令和7年4月開院の知多半島総合医療センターへの移動手段確保では、市内、市外から、より安価で利便性の高い公共交通手段で訪問できるよう、交通事業者及び、常滑市と調整を進める。
24-3	公園整備・改修事業	B	公園トイレを和式から洋式へ改修したことにより、利用者の利便性、快適性の向上を図ることができた。引き続き、継続的に公園施設の点検を行うとともに令和5年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の計画的な整備改修を進める必要がある。	現状維持	職員によるパトロールのほか、遊具などについては、専門業者の点検により現況を把握し、適正な管理により、利用者の安全確保に努める。 2haを超える公園施設については、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金を活用しながら計画的に改修を行う。
課等長	1次評価（令和5年度の総括評価）				
B	亀崎地区無電柱化等整備事業については、地域住民の理解を得ながら電線管理者と協力し、電線共同溝工事を実施することができた。 公共交通対策事業については、地区路線B瑞穂線の路線改善にかかる運行決定や、市内基幹路線2路線の夜間運行キャンペーンを実施し、課題の解決及び、バス利用促進を図ることができた。 また、一部が交通空白地域となっていた横川地区で、おでかけタクシーの本格導入を決定することができた。 公園整備・改修事業については、公園トイレを和式から洋式へ改修し、全ての公園で洋式便器を利用することができ、利用者の利便性、快適性の向上を図ることができた。				
部等長	2次評価（令和5年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
B	亀崎仲町通りの無電柱化については、令和5年度は、電線共同溝工事を実施することができた。令和8年度の工事完了を目指し、引き続き地元住民の理解を得ながら、着実に進めていくこと。 公共交通については、バスの利用促進及び、一部交通空白地域の解消を図ることができた。引き続き既存路線の利用促進、課題解決への取り組み、交通空白地域の解消について、市民と協働しながら進めること。また、知多半島総合医療センター開院に向けた、新たな交通手段の確保について、各関係機関と協議を進め、決定すること。 令和5年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者の利便性向上のため、適正に施設の更新を行うこと。				

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	24-1																																
PDCA	主要事業名	亀崎地区無電柱化等整備事業	部課名	建設部都市計画課	担当	川村																																
					内線	443																																
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 2 単位施策： 景観・公園 全体事業期間： 令和 3 年度 ～ 8 年度 全体事業費等： 1,013,278 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.05.05.02.54																																					
	事業概要等	事業概要： 景観形成重点地区であり、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートである亀崎仲町通りを無電柱化し、景観に配慮した道路整備を実施する。																																				
		事業目的： 景観形成重点地区として相応しい景観形成を推進する。																																				
		事業内容： 亀崎仲町通りの無電柱化に向けた整備工事を実施する。																																				
		問題点： 無電柱化の実施に際して、電線管理者や地元住民の合意形成が必須である。																																				
	予算額	主要事業とする理由																																				
	129,813 千円	ユネスコ無形文化遺産に登録されている亀崎潮干祭の山車の運行ルートが無電柱化することで、亀崎仲町通りの景観形成を図るため。																																				
	財源内訳	得られる成果																																				
	市費 58,863 千円	景観形成重点地区であり、亀崎潮干祭（ユネスコ無形文化遺産）の山車の運行ルートでもある亀崎仲町通りの良好な景観形成が図られる。																																				
	国費 70,950 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">無電柱化事業の進捗率</td> <td>実績値 0.9</td> <td>1.7</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 0.9</td> <td>1.7</td> <td>14.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	無電柱化事業の進捗率	実績値 0.9	1.7	—	%	目標値 0.9	1.7	14.5	%		実績値				目標値				その他	実績値				目標値			
	目標値や目指すべき状態	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																	
	無電柱化事業の進捗率	実績値 0.9	1.7	—	%																																	
		目標値 0.9	1.7	14.5	%																																	
		実績値																																				
		目標値																																				
その他	実績値																																					
	目標値																																					
0 千円																																						
その他 0 千円																																						
D 実績得られた成果と	決算額 129,688 千円	得られた成果																																				
		亀崎仲町通りの良好な景観形成を図るため、電線共同溝工事に着手し進捗することができた。																																				
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">無電柱化事業の進捗率</td> <td>実績値 14.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値 14.5</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果指標	令和5年度	単位	無電柱化事業の進捗率	実績値 14.5	%	目標値 14.5	%																								
	成果指標	令和5年度	単位																																			
	無電柱化事業の進捗率	実績値 14.5	%																																			
		目標値 14.5	%																																			
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、令和8年度の完了に向け、引き続き工事を進めていく必要がある。																																				
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	現状維持 令和8年度中の工事完了を目指し、電線管理者の協力や地域住民の理解を得ながら、計画的に事業を進める。令和6年度も引き続き電線共同溝工事を進めていく。																																				
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない																																		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある																																			
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																			

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	24-2																																				
PDCA	主要事業名	公共交通対策事業	部課名	建設部都市計画課	担当 内線	榊原 447																																				
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 4 - 2 - 3 単位施策： 移動環境 全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 189,758 千円 会計 一般会計 歳出科目： 07.05.01.03.50					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																				
	事業概要等	事業概要： 市民の移動手段の1つとして公共交通バスの運行を維持確保するもの。地区路線A「ごんくる」・地区路線Bの運行と基幹路線バスへの運行経費等補助のほか、交通空白地域の解消に向けた取組の実施を図る。																																								
		事業目的： 少子高齢化や単身世帯増加など時代背景から予測される移動需要の高まりを見据え、市民の暮らしの足の維持、確保を目的とする。																																								
		事業内容： 地区路線A・Bの運行、バス事業者への運行経費等補助、交通空白地域の解消に向けた取組、公共交通会議の運営と広報、バス環境維持整備、半田市地域公共交通計画の策定（更新）を実施する。																																								
		問題点： 限りある財源の範囲で、市内全地域から一定の満足度と納得感で評価いただく課題等： ける効率的な運行の仕組みや路線の確立が課題となっている。																																								
	予算額	主要事業とする理由																																								
	189,758 千円	移動しやすい環境は、豊かで活力のある市民生活を支える基盤であるため。																																								
	財源内訳	得られる成果																																								
	市費 181,258 千円	公共交通バス環境の維持と向上により市民の暮らしの足を確保することで、だれもが生活しやすいまちづくりにつながる。																																								
	国費 0 千円	目標値や目指すべき状態																																								
	県費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内路線バス利用者数</td> <td>919.0</td> <td>931.0</td> <td>—</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,012.0</td> <td>1,113.0</td> <td>1,209.0</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	市内路線バス利用者数	919.0	931.0	—	人/日		1,012.0	1,113.0	1,209.0	人/日																					
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																					
	市内路線バス利用者数	919.0	931.0	—	人/日																																					
		1,012.0	1,113.0	1,209.0	人/日																																					
その他 8,500 千円																																										
D 実績 得られた成果と	決算額	得られた成果																																								
	161,600 千円	基幹路線バスへの運行経費等補助や既存路線だけでなく、路線バスの導入が適さない地域でのバス以外の交通手段の継続により、市民の移動の足を確保維持することで、暮らしの基盤として貢献した。																																								
	市費 145,012 千円	成果指標																																								
	国費 8,088 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内路線バス利用者数</td> <td>1,033.0</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,209.0</td> <td>人/日</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						令和5年度	単位	市内路線バス利用者数	1,033.0	人/日		1,209.0	人/日																											
		令和5年度	単位																																							
	市内路線バス利用者数	1,033.0	人/日																																							
		1,209.0	人/日																																							
県費 0 千円																																										
その他 8,500 千円																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 指標であるバス利用者数は、規模の大きい基幹2路線の伸びが小さかったことが影響し、目標には未達であったものの、全路線で前年度よりも利用者が増加した。平成30年以降に導入を開始した地区路線A、Bでは、全ての路線で過去最高値を記録した。これは令和4年度下期に実施した無料乗車キャンペーンによる利用の底上げ効果やコロナ禍で妨げられていた路線成長の再開が寄与したものと考える。ただし、その中でも伸びが乏しい地区路線B瑞穂線については、住民意見をとりまとめた改善案に基づき、令和6年4月からの新路線運行を決定した。基幹2路線では、夜間のニーズ調査と利用促進を兼ねて最終便以降に移動手段を追加確保する夜間運行キャンペーンを令和5年10月から5か月間の金・土限定で試験的に行った。また、交通空白地域の解消に向け、横川地区でおでかけタクシー制度の実証実験を行い、令和6年4月からの本格導入を決定した。																																								
A 課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 引き続き利用者数の底上げを目的に、地区路線A亀崎・有脇線の路線改善を行う。改善においては、移動手段の変更も視野に入れ、地域住民と協働して取り組む。令和7年4月開院の知多半島総合医療センターへの移動手段確保では、市内、市外から、より安価で利便性の高い公共交通手段で訪問できるよう、交通事業者及び、常滑市と調整を進める。																																								
	観点別評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">必要性</th> <th colspan="2">有効性</th> <th colspan="2">効率性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①市の関与の妥当性</td> <td>妥当</td> <td>④上位施策への貢献</td> <td>大きい</td> <td>⑦コスト削減</td> <td>ある</td> </tr> <tr> <td>②市民ニーズ</td> <td>高い</td> <td>⑤成果向上の余地</td> <td>ある</td> <td>減余地</td> <td>※対象・手段の変更</td> </tr> <tr> <td>③休廃止の影響</td> <td>大きい</td> <td>⑥類似事業の有無</td> <td>ない</td> <td>⑧受益者負担適正化余地</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					必要性		有効性		効率性		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある	②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—												
		必要性		有効性		効率性																																				
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減	ある																																					
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	減余地	※対象・手段の変更																																					
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																					

目標項目（予算計上時に作成）

予算見積書で活用

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	24-3																																								
PDCA	主要事業名	公園整備・改修事業	部課名	建設部都市計画課	担当 内線	近藤 449																																								
P	総合計画： 4 - 2 - 2 単位施策： 景観・公園					目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用																																								
	全体事業期間： 令和 5 年度 ～ 5 年度 全体事業費等： 28,456 千円																																													
	会計 一般会計 歳出科目： 07.05.04.02.50																																													
	事業概要等	事業概要： ○公園施設長寿命化計画策定業務委託 都市公園施設の老朽化に対する安全対策の強化と将来の改築・更新に係るコスト縮減や平準化を図ることを目的に策定する。 ○既設公園施設整備・改修工事 和式トイレの洋式化等、公園施設の改修を実施する。																																												
		事業目的： 既存の都市公園において、利用者が安全かつ快適に利用できるよう、公園施設の整備・改修を実施する。																																												
		事業内容： 公園において、利用者が安全・安心・快適に利用できるよう施設の整備・改修を行う。																																												
		問題点： 既存の和式トイレの洋式化等を実施する。 課題等：																																												
	予算額 28,456 千円	主要事業とする理由																																												
	財源内訳	公園施設の利便性の向上により、公園の魅力を高め、利用を促進するため。																																												
	市費 18,641 千円	得られる成果																																												
	国費 2,497 千円	公園施設の利便性・安全性の向上により、市民が快適に公園を利用できるようになる。																																												
	県費 0 千円	<table><tr><th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th><th>令和3年度</th><th>令和4年度</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td rowspan="2">公園施設の整備・改修工事実施数</td><td>実績値</td><td>53.0</td><td>4.0</td><td>—</td><td>基</td></tr><tr><td>目標値</td><td>25.0</td><td>4.0</td><td>19.0</td><td>基</td></tr><tr><td rowspan="2"></td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">その他</td><td>実績値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	公園施設の整備・改修工事実施数	実績値	53.0	4.0	—	基	目標値	25.0	4.0	19.0	基		実績値					目標値					その他	実績値					目標値					
	目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度		単位																																							
	公園施設の整備・改修工事実施数	実績値	53.0	4.0	—		基																																							
		目標値	25.0	4.0	19.0		基																																							
	実績値																																													
	目標値																																													
その他	実績値																																													
	目標値																																													
その他 7,318 千円																																														
D 値得られた成果と実績	決算額 28,681 千円	得られた成果 市内18公園の和式トイレを洋式へ改修したことで、全ての公園において洋式トイレが使用できるようになり、公園利用者の利便性の向上を図ることができた。また、ウォーキング等で利用される任坊山公園において健康遊具を1基設置した。																																												
	<table><tr><th colspan="2">成果指標</th><th>令和5年度</th><th>単位</th></tr><tr><td rowspan="2">公園施設の整備・改修工事実施数</td><td>実績値</td><td>19.0</td><td>基</td></tr><tr><td>目標値</td><td>19.0</td><td>基</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td></td><td></td></tr></table>					成果指標		令和5年度	単位	公園施設の整備・改修工事実施数	実績値	19.0	基	目標値	19.0	基																														
	成果指標		令和5年度	単位																																										
	公園施設の整備・改修工事実施数	実績値	19.0	基																																										
		目標値	19.0	基																																										
C 課題の整理	事業の評価・課題	B 公園トイレを和式から洋式へ改修したことにより、利用者の利便性、快適性の向上を図ることができた。引き続き、継続的に公園施設の点検を行うとともに令和5年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した施設の計画的な整備改修を進める必要がある。																																												
	今後の事業の方向性	現状維持 職員によるパトロールのほか、遊具などについては、専門業者の点検により現況を把握し、適正な管理により、利用者の安全確保に努める。2haを超える公園施設については、公園施設長寿命化計画に基づき、国庫補助金を活用しながら計画的に改修を行う。																																												
A 今課題の解決に向けた	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																								
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減 減余地	※手段の変更 ない																																									
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある	⑧受益者負担適正化余地	ない																																									
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											